教科名	公民	単位数	1	単位
科目名	政治・経済	対象学年・科	4年・A、B、C	組
教科担任	幸田 記			
教科書 副教材等	最新政治・経済(新訂版) 実教出版			

指導目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、主権者として必要な能力と資質を育てる。昨年度、政治部門が中心だったので今年度は経済部門を中心とする。
------	---

		単 元	予定時数	学 習 内 容・目 標
年 間 授 業 内 容	一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の経済社会 ア経済主体と市場の働き (経済社会の基本原理) イ国民所得 (経済成長と国民の福祉など) ウ金融の役割 (日本銀行と財政の役割、日本財政の課題など) 	14 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・政府・国民(家計)・企業の主体間の循環について考察する。 ・中央銀行を概観し、望ましい金融政策の在り方について考察する。 ・経済的な格差と租税制度の在り方、現状を考察する。 ・企業の種類についての学習をふまえ、企業が社会に与える役割とその社会的責任について考察する。 ・国際社会や国際法、国連をはじめとする国際機関の役割をふまえ国際市場の課題や国際紛争の諸要因について考察する。
	二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の日本経済と福祉の向上 ア戦後復興から高度経済成長へ (安定成長からバブル経済へ、日本経済の課題など) イ現代日本経済の仕組みと特質 (消費者問題、公害防止と環境保全、労働問題と労働者の権利など) ウ社会保障の役割 (少子高齢社会の進展など) ・現代社会の諸課題 	14 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済における少子高齢化にともなう人口減少などの諸課題と冷戦終結後の日本経済の足跡をふまえ、国際平和や人類の福祉に寄与する日本経済の役割について考察する。 ・日本経済の現状と問題点をふまえ、労働関係、社会保障などといった日本経済が直面する課題について考察する。 ・社会保障の役割と意義を理解し、租税の必要性について考察する。 ・さらなる制度の見直しが必要になる今後の社会保障のしくみを理解し、持続可能な社会保障制度のあり方について考察する。
	三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の国際経済 ア貿易と国際収支 イ国際経済の動向 	3 時間	<ul style="list-style-type: none"> ・政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する。望ましい解決の在り方について考察を深める。
評価の 観点 ・方法	授業中の取組状況(グループワーク・プレゼンテーション等)、提出物(授業プリント・まとめプリント・レポート等)、出席状況、各定期考査の得点を総合的に勘案して評価を行う。			